

2021年12月31日期末暫定決算報告書

この資料は、英国ブリティッシュ・アメリカン・タバコが2022年2月11日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

2021年一転換を達成、自社株買いを発表

決算のハイライト	公表値		調整後	
	実勢 為替レート	前年比	実勢 為替レート	前年比 (同一為替レート)
紙巻たばこおよび加熱式たばこの数量ベースのシェア 紙巻たばこおよび加熱式たばこの金額ベースのシェア 非燃焼式たばこ利用者 ¹	1,830 万人	+0.1 ポイント +0.2 ポイント +480 万人		
売上高	256.84 億ポンド	-0.4%	256.84 億ポンド	+6.9%
ニュー・カテゴリー製品の売上	20.54 億ポンド	+42.4%	20.54 億ポンド	+50.9%
営業利益	102.34 億ポンド	+2.7%	111.50 億ポンド	+5.2%
オペレーティングマージン	+39.8%	+1.2 ポイント	+43.4%	-0.7 ポイント
希薄化後 EPS	295.6 ペンス	+60%	329.0 ペンス	+6.6%
営業活動による正味キャッシュフロー	97.17 億ポンド	-0.7%		
配当支払い後フリー・キャッシュフロー			25.5 億ポンド	+32.7%
キャッシュ・コンバージョン ²	95.0%	-3.2 ポイント	103.6%	+0.6 ポイント
借入金 ³	396.58 億ポンド	-9.8%		
調整後純負債			355.48 億ポンド	-11.1%
一株当たり配当金	217.8 ペンス	+1.0%		

注-1. 社内推定値 2. 調整後オペレーティングマージンおよびオペレーティング・キャッシュ・コンバージョンは実勢為替レート・ベース 3. 借入金はリース債務を含む

変革を加速	好業績を達成
<ul style="list-style-type: none"> ニュー・カテゴリー製品の売上は51%増の21億7,800万ポンド* 非燃焼式たばこ**利用者は480万人増の1,830万人 ベイパー製品の売上は59%増* gloの売上高は46%増* モダン・オーラル製品の売上は41%増* 通期のニュー・カテゴリー製品の損失額は9%減少（およそ1億ポンド） オペレーティング・キャッシュフロー・コンバージョンは104% 調整後純負債/調整後 EBITDA 比率は3倍に低下 2022年の20億ポンドの自社株買いを発表 	<ul style="list-style-type: none"> 売上は価格動向とニュー・カテゴリー製品の成長を反映して6.9%増* 燃焼式たばこは新興国市場の動向とコロナ禍からの回復を反映して4.0%増*、プライスマイクスは4.3%改善 紙巻たばこの金額ベースのシェアは0.1ポイント拡大 「プロジェクト・クオンタム」が奏功してさらに年間5億9,500万ポンドのコスト削減を達成 調整後営業利益は為替換算による-1.7%の影響を吸収して5.2%増* 調整後オペレーティングマージンは0.7ポイント低下 調整後希薄化後 EPS は6.6%拡大

*同一為替レート **これらの製品にリスクがないわけではなく、依存性がある

ジャック・ボウルズ最高経営責任者：「2021年には、より良い明日を築くための変革を達成しました。2021年はまさに転換点となる年でした。ニュー・カテゴリー製品の売上高成長が加速して50%*を超える成長率を記録し、当社の非燃焼式たばこ製品の利用者は480万人増加して1,830万人に達しました。ニュー・カテゴリー製品の損失額が初めて減少して利益成長に貢献し、目覚ましい業績を達成すると同時に純負債倍率はおおよそ3倍に低下しました。2021年は転換の年となりました。

ESGを当社の戦略および企業理念の中核に置くことにより持続的な成長を実現しており、より多くの消費者にリスクの低減の可能性を秘めた製品**への移行を促すことで当社の事業が健康へ及ぼす影響を緩和しました。また、当社事業による直接的な排出における2030年までのカーボン・ニュートラルの達成を含め、他のESG目標に関しても達成に向けて着実に前進しています。

こうした強固な基盤を礎に、BATはより良い明日に向けた変革の加速という目標の達成に向けた次の段階に進むことができます。当社は、2025年を目途としたニュー・カテゴリー製品の50億ポンドの売上と採算性^hの確保という目標に向けて着実に進んでおり、ニュー・カテゴリー製品に関する当社の専門的知見と能力を生かしてニコチン製品以外の市場機会を開拓しています。

また、こうした基盤により財務上の柔軟性も高まっており、持続的で長期的な株主価値の創出のためのより積極的な資本配分が可能になっています。レバレッジは目標レンジ内にとどまっており、今後5年間に配当支払い前のフリー・キャッシュフローはおよそ400億ポンドに達する見通しで、変革の加速への投資を継続して高水準の株主リターンを達成していきます。増配の継続に加えて、取締役会は2022年における20億ポンドの自社株買いプログラムを承認しました。

新型コロナウイルス感染症の流行という困難な局面を通じて優れた業績の達成に尽くしてくれた社員およびパートナーに深く感謝します。明日のBATは、高成長かつ消費者重視のマルチカテゴリーの消費財企業です。私たちは、変革の加速、優れた業績の継続的な達成、株主への高水準のキャッシュ還元を実現できると確信しています。私たちはより良い明日を築くことができると確信しています。」

2022年の見通し

- 世界のたばこ業界は数量ベースで2.5%前後縮小する見通し。
- 同一為替レート・ベースの売上成長率は3~5%と予想。
- ニュー・カテゴリー製品の売上は着実に拡大し、損失額は一段と減少する見込み。
- 同一為替レート調整後のEPS成長率は1桁台後半となり、特に下半期に大きく増加する見通し。
- 為替換算による通期の調整後EPS成長率への影響はほぼ中立的となる見込み。
- オペレーティング・キャッシュ・コンバージョン比率は90%を超えると予想。

△カテゴリー別寄与度に基づく一カテゴリー別寄与度は、各ブランドの直接的なコスト（販売費を含む）差引後の間接費配分前利益と定義される。

最高経営責任者のコメント

変革を加速—より良い明日に向けて

「2021年は、『より良い明日』を築くための当社の変革の道程において重要な転換点となりました。BATは戦略的な取り組みを着実に進展させると同時に、すべてのステークホルダーのための価値を創出しています。この業界に変革をもたらしているさまざまな機会を当社が巧みに活用することができているのは、不屈の精神を持った当社の社員およびパートナーシップのおかげです。

BATは、マルチカテゴリー戦略を通じて当社の事業による健康への影響を減らすことに真剣に取り組んでいます。2021年7月の上半期決算報告書でご説明したように、下半期に当社の目標を達成するためには消費者を重視した製品およびブランドの開発と提供に注力することにより成長を加速させることが不可欠でした。2021年の業績は、それが見事に達成されたことを如実に示しています：

- 非燃焼式たばこ製品の利用者が1,350万人から1,830万人へと過去最大の増加を記録
- 非燃焼式たばこ製品は現在当グループの売上の12%を占めており、この比率は2017年の4%から増加
- ベイパー製品の売上は59%増*となり、グローバルブランドの「Vuse」は世界のベイパー製品の金額ベースのシェアでトップに成長
- 加熱式たばこ（THP）のgloの売上はENAと日本での数量ベースのシェア拡大に伴い46%増加*
- モダン・オーラル製品の売上はVELOを中心に41%増*

2021年には、ニュー・カテゴリー製品の売上成長率が50%*を超えました。当社の強力なグローバルブランドであるVuse、glo、VELOを擁するリスク低減の可能性を秘めた製品**+ポートフォリオが好調で、以下の事業変革目標の達成に向けて当社は着実に前進しています：

- 2025年を目途としたニュー・カテゴリー製品の50億ポンドの売上と採算性の確保
- 2030年までに非燃焼式たばこ製品の利用者を5,000万人に拡大

また、BATはESG目標の達成に真剣に取り組んでいます。具体的には、当社の事業による排出量（スコープ1および2）について2030年までにカーボン・ニュートラルを達成し、さらにバリューチェーン全体（スコープ1、2および3）では2050年までにネットゼロを達成することを目指しています。サステナビリティは、以前から当社の事業および企業理念の中核となってきました。当社は20年前に最初の社会報告書

(ソーシャルレポート)を発行しており、2021年には20年連続でグローバル・サステナビリティ・リーダーとしてダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスに選定されました。

BATが行う変革の次の段階では、未来のサステナブルな企業の創造に重点が置かれます。事業全般において、当社の組織変革プロジェクトである「クエスト」の成果がみられています。「クエスト」は、5つのアクセラレーターを柱としており、当社が持つ強靭さをさらに強化し、消費者の訴求とグローバルな基盤により一層の価値を創出することを目的としています。

この「クエスト」を通じて、マルチカテゴリー事業の確立に必要な要素を開拓し、将来的なサステナビリティの強化とデジタル変革を実現することにより、より良い明日を築きます。」

財務および変革責任者のコメント

高水準のキャッシュフローを背景にレバレッジの引き下げと自社株買いが可能に

2021年は当社の変革の道程における重要な年となり、ニュー・カテゴリー製品およびレバレッジ引き下げにおいて重要な進展がみられました。

成長が加速しているニュー・カテゴリー製品はグループ全体の売上高成長に大きく貢献しており、非燃焼式たばこ製品はグループ全体の売上高成長の5割近くを占めています。こうした成長モメンタムを背景に、当社は2021年にはニュー・カテゴリー製品への投資をさらに4億9,600万ポンド拡大させる一方で、ニュー・カテゴリー製品の損失額を初めて1億ポンド近く削減することができ、2025年までの採算性確保に向けて着実に前進しました。投資の原資は、燃焼式たばこ製品の金額ベースの力強い成長が続いていることと、年間ベースで13億ポンドに達する「クオンタム・プロジェクト」によるコスト削減により確保されました。同プロジェクトによるコスト削減額は2022年には少なくとも年間15億ポンドに達する見通しです。

同一為替レート・ベースの調整後希薄化EPS成長率は、1桁台半ばとしていた予想レンジの上限となる6.6%に達しました。このように営業収益が好調だったため、さまざまな一時的要因による影響を吸収することができました。2021年に生じた一時的な要因には、オーストラレーシアにおける物品税の構造的な見直し、イラン事業の売却、為替換算による1.7%のマイナス影響などが含まれ、主として価格引き上げと物品税引き上げの可能性を巡る不透明感に関連した米国の流通在庫変動によるプラス効果(2022年序盤に解消する見込み)により部分的に相殺されました。米国の公表販売数量は5.0%減となり、基調的な販売数量はおよそ7%減少しました。

ここ数年、BATはキャッシュ・ジェネレーションの強化に注力しており、2021年の営業活動による正味キャッシュフローは100億ポンド近くに達しました。2021年には(中略)調整後純負債/調整後EBITDA比率を3倍前後に引き下げるという目標を達成できました。今後5年間に、およそ400億ポンドの配当支払い前フリー・キャッシュフローを達成できる見通しです。

この結果、長期的な株主価値を実現するための一段と積極的な資本配分方針を採用する柔軟性が生じました。これには、増配の継続、調整後純負債/調整後EBITDA比率を2~3倍に抑えるというレバレッジ目標の維持に加えて、補完的なM&A機会の模索や株主リターンの強化のための自社株買いなどが含まれます。

取締役会は、マクロおよび財政面での影響や予想される規制および訴訟面での動きに引き続き配慮しつつ、この新たな長期的かつ積極的な資本配分方針に沿った資本配分の機会を毎年優先していきます。その最初のステップとして、当社は配当の1.0%、217.8ペンスへの引き上げと2022年の20億ポンドの自社株買いを発表しました。

BATの流動性状況は引き続き健全で、債務の平均年限は10年近くとなり、1年間に返済期限を迎える債務は最大で約40億ポンド前後となりました。2021年9月には、当社初の20億ポンドの永久ハイブリッド債の発行が無事完了しました。これにより当社の資金源が多様化し、資本構造が一段と強化されます。当社

は引き続き中期的に信用格付けが現在の BBB+/Baa2 ***から BBB+/Baa1 に格上げされることを目指しています。

BAT の変革への道程の次の段階は、当社の変革プロジェクトの「クエスト」を通じて実現されます。「クエスト」により持続可能な未来の企業を確立し、BAT の企業精神に導かれたより迅速な意思決定のための事業の簡素化という、当社の成長戦略の実践と運用を可能にする組織的な柔軟性を確保します。

* 同一為替レート・ベース。

** たばこ喫煙からの完全な移行を想定した科学的根拠の重要性に基づくもの。これらの製品が全くリスクを阻まないことはなく、依存性もあります。

+ 米国で販売されている Vuse、VELO、Grizzly、Kodiak、Camel Snus を含む当社製品は米食品医薬品局 (FDA) の規制を受けており、FDA の許可なしにこれらの製品の健康リスク低減に関する文言を使用することはありません。

*** 信用格付けは、証券の購入、売却あるいは継続保有を推奨するものではない。信用格付けは随時取り下げまたは見直される可能性があります。個々の格付けは、他の格付けと切り離して評価されるべきです。